

つるせ西だより



～今月の特集～
つるせ西だより編集委員の感じた
コロナ禍の生活

第164号(7・8月合併号)2021.7.1

編集:鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行:富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景 34

16か月ぶりの「つるせ台ひろば」開催



つるせ台小学校
校庭にて

教室での折り紙や月ごとの色々な工作、囲碁将棋オセロなどのボードゲームやけんだま、体育館での卓球、バドミントン、校庭での一輪車、竹馬、グラウンドゴルフを行って、地域のボランティアの人たちと交流しながら、安心安全な遊び場として活動をしていました。

今回のひろば開催にあたっては、何回かのスタッフ企画会議や学校との打ち合わせをし、校庭だけ使用してのグラウンドゴルフを行うことにしました。

初めは48人締め切り予定でしたが、多くの児童の参加希望があり、60人まで増やしましたが、時間内に終了することが出来ました。ボランティアも大勢参加し、ゲームの指導や採点だけでなく、受付からはじまり、検温や消毒、終了後の手洗い、用具の消毒などもしました。そんなことを知ってか知らずか児童たちは、指導する大人という事を聞きながらも明るく夢中になって遊んでいました。

今後、つるせ台小学校の校庭は6月から、富士見市で初の校庭芝生化工事が始まり、しばらくは校庭が使えなくなるとのことです。芝生になってからの校庭での活動が楽しみでもあります。

(撮影・文/笠原編集委員)



(貫戸)

まちかどウォッチング
山鳩の愛情

我が家の庭先に榎の木があり、その木に山鳩が巣を作っている。

一昨年からカラスが山鳩のひな鳥を襲い、小鳥を食べてしまったことがある。

山鳩の対はあわれに思ったのか、その年は榎の木に来なかった。

今年は久しぶりでやって来た。木の枝をくわえてせせと運び、巣作りを始めた。

4月12日、巣作りも終わり、親が交互に卵を抱いている様子を眺めながら、家族中で楽しんでいた。ひな鳥2羽が飛び立ち、今は二度目の卵をせせと抱いている。飛び立つのを楽しみに待っている。